

PROレーシングホイール

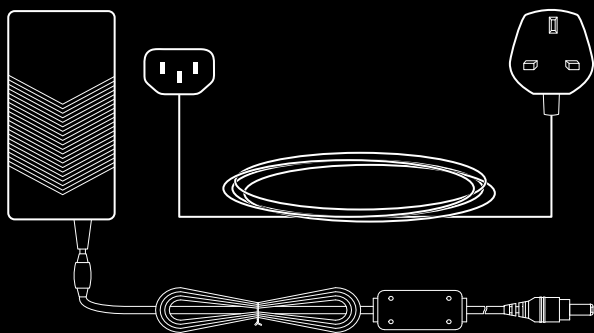
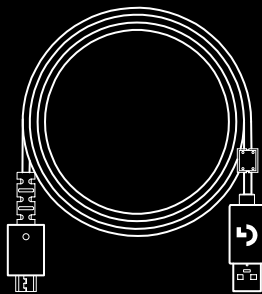
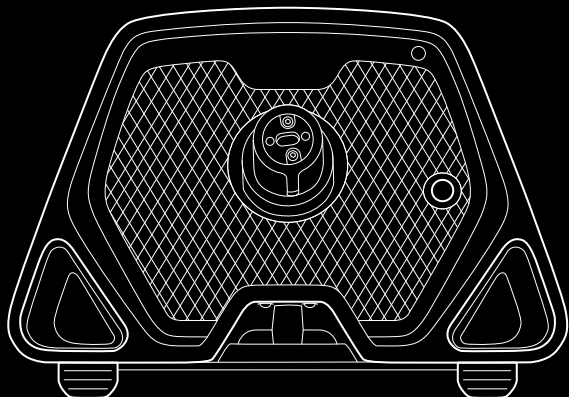
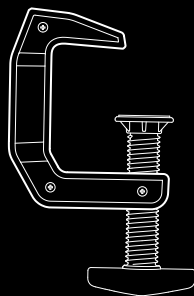
PlayStation®5コンソール、PlayStation®5、PlayStation®4、PC用

セットアップガイド



logicool 





お客様へ

この度は当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本保証書は、お買い上げいただいた製品の保証サポートをお受けになる際に必要ですので、大切に保管してください。保証規定については、株式会社ロジクールのウェブサイトに掲載されている「ロジクールのハードウェア製品の限定保証」(<http://www.logicool.co.jp/warranty>)又は製品に同梱されている保証規定をご覧ください。

株式会社ロジクール

商品に関するお問い合わせ

株式会社ロジクール カスタマーサポートページをご覧ください。

<http://www.logicool.co.jp/support>

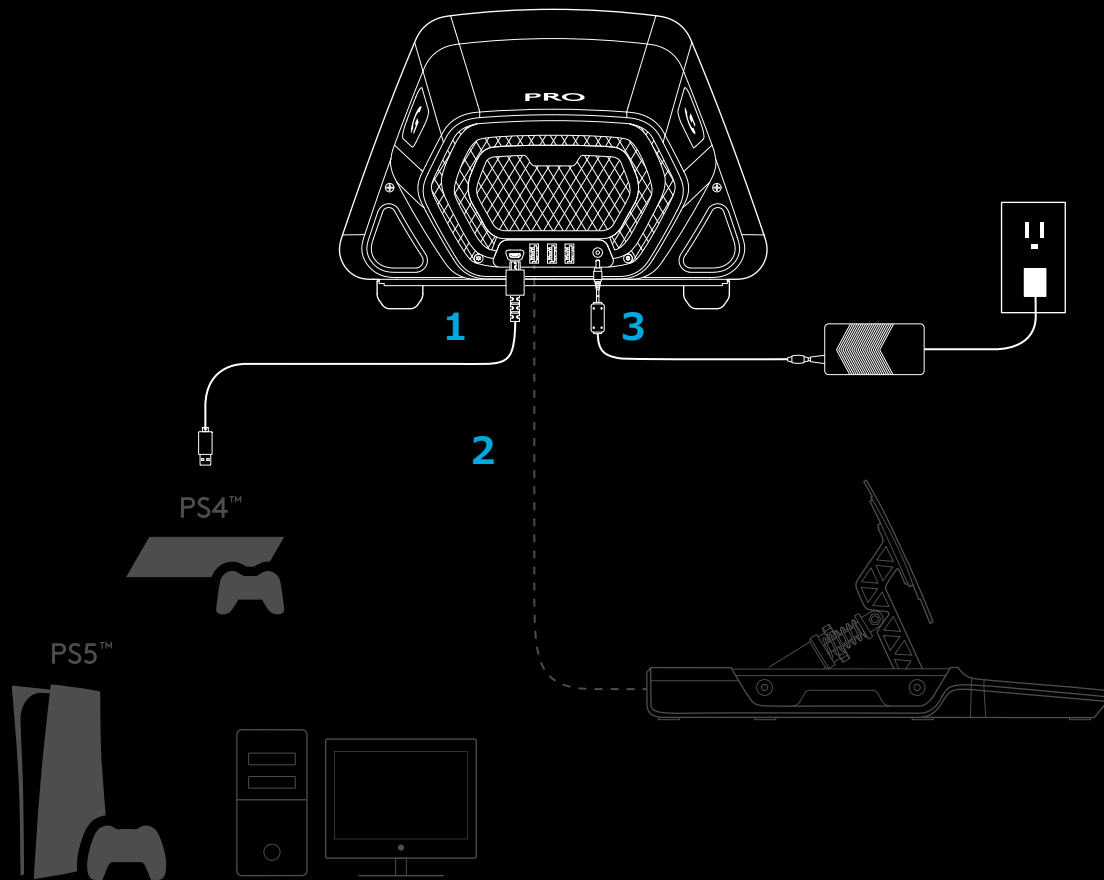
ユーザー登録について

ユーザー登録は、弊社ホームページ <http://www.logicool.co.jp> にてオンラインで受け付けております。

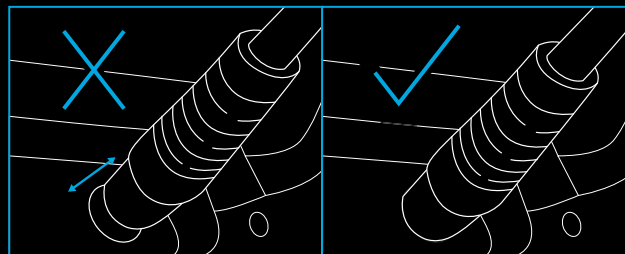
接続性

- 1 PC / コンソールへのUSB接続
- 2 周辺機器のポート*
- 3 電源ポート

* このUSBポートはロジクール製のレーシング周辺機器のみが対応します。その他のUSB接続式の周辺機器には対応しませんのでご注意ください。



電源コネクタを挿し込む際、奥までしっかりと挿さっている事をご確認ください。奥まで挿さっていない場合、製品が正しく動作しない事がありますのでご注意ください。また、無理な力を加えると破損の原因にもなるのでご注意ください。



取り付け

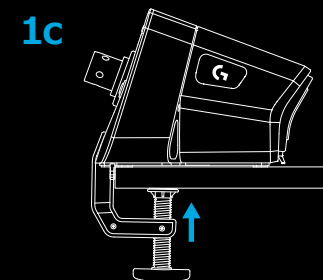
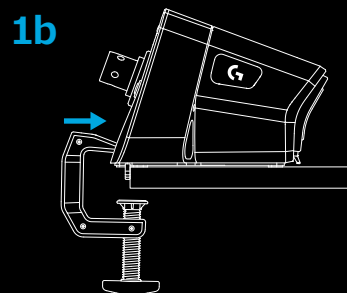
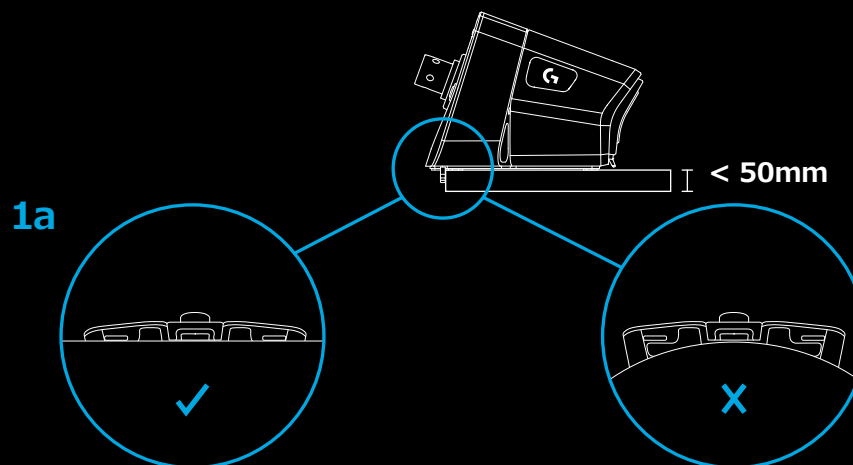
1 デスクへの取り付け

1a. ホイールベースをデスクに設置し、製品下部のフィートがデスクの端と揃っている事をご確認ください。

1b. 前面の穴にクランプを挿入します。

1c. ネジを調節してクランプを締めます。

クランプがデスクに接触したら、ネジを半回転~一回転ほどさせて、程よくネジを締めます。この際、締めすぎにご注意下さい。



注:

- 高トルクのホイールをデスクに設置する際は、デスクの構造や素材にご注意下さい。一部のデスクは中が空洞になっていたり、表面素材が薄いものが採用されている場合があります。本製品を取り付ける際は、MDF素材や木製素材など、耐久性の高い素材で作られたデスクに設置する事を推奨します。

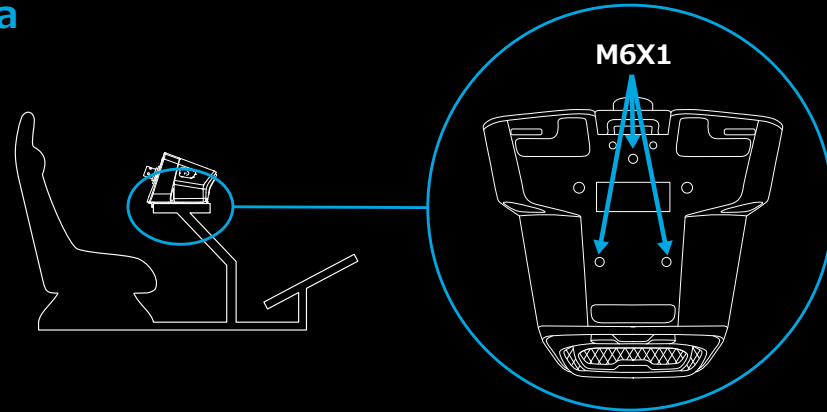
2 レーシングシートへの取り付け

2a. ホイールベース底面にある3つのボルト穴を使う事で、主なシートメーカーのシートに取り付ける事が可能です。

- ホイールベース底面のボルト穴に取り付ける為には、15mm 長のM6X1 規格のボルトが必要です。(一般市販品をお買い求め下さい)
- 15mm より長いボルトを使用される場合、ホイールベースが破損する場合があるのでご注意ください。長いものを使用する場合は、ワッシャーを併用するなどして長さ調整をして下さい。
- ボルトを締める際は、締め付け具合が分かるよう手動で締めて下さい。電動工具等を使うと、ボルトの過度な締め付けによる製品破損に繋がる恐れがあるためご注意ください。

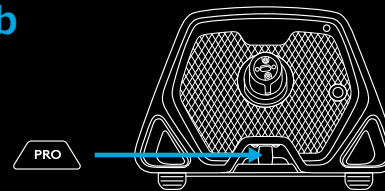
2b. レーシングシートに取り付ける時は、同梱のカバーを使ってクランプ穴を埋めることができます。

2a



M6X1 L = T + 15MM

2b

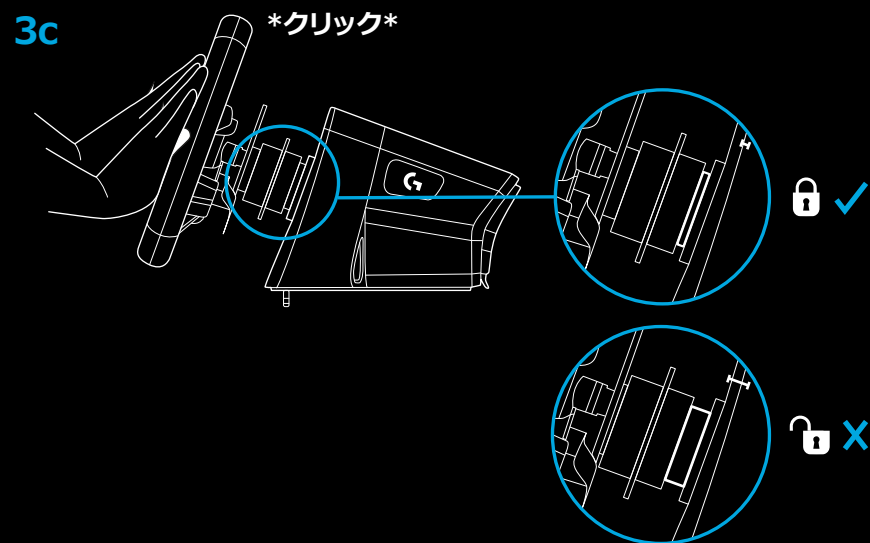
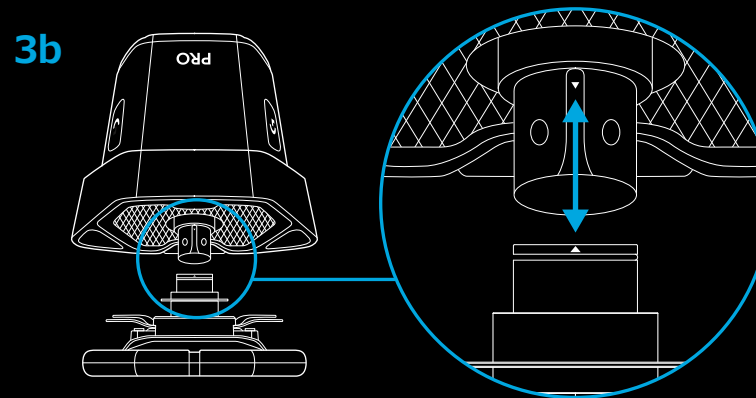
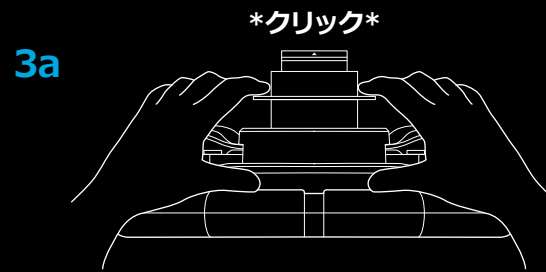


注:

- シートの乗り降りの際、ホイールを持ったまま乗り降りをして下さい。ホイールを持つとシートや製品に過度な力がかかり、破損に繋がる恐れがあります。

3 ホイールリムの取り付け方法

- 3a. シャフトが揃っている事を確認し、ホイールリムをベースに接続します。
- 3b. 「圧迫された」位置でクイックリリースリングをロックして、ホイールを取り付けます。ホイールリムを取り付ける時に、そこで押さえる必要はありません。
- 3c. クイックリリースリングが所定の位置に収まるまで、ホイールリムをホイールベース上のシャフトに押し付けます。



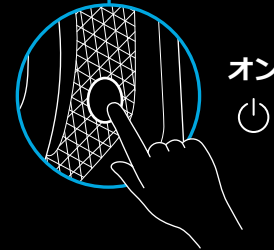
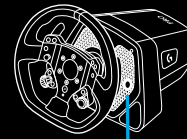
電源およびソフトウェア

- 1 ホイールベースの前面にある電源ボタンを押して、ホイールの電源を入れます。ホイール リムがわずかに回転して、キャリブレーションを確認してから、中央に戻ります。
- 2 ホイールベース上の設定ディスプレイが、プレイしたいプラットフォームを選択するよう促します。
- 3 ステアリングホイール上の左/右ダイヤルのいずれかを使ってプラットフォームを選択してから、カチッと音がするまでダイヤルを押して選択を確定します。
- 4 PSボタンを押してログインし、ホイールを希望のプレイヤープロフィールと同期させます。
 - コンソールでプレイするには、お好きな対応ゲームをロードするだけで、レーシングを開始できます。
 - PCでは、最初に最新バージョンのロジクールG HUBソフトウェアをwww.logitechG.com/GHUBでダウンロードして、インストールする必要があります。インストールしたら、お好きなタイトルでレーシングを開始できます。一部のタイトルでは、ホイールを機能させるために、まずゲームのコントロール設定でホイールを構成する必要があります。

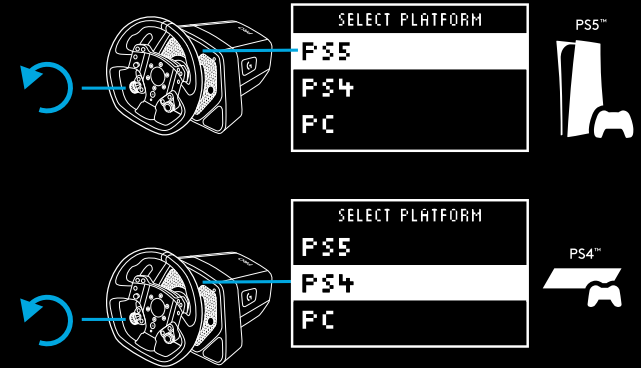
一部のタイトルでは、ホイールを動作させる、あるいはセットアップを簡素化させるために、G923互換モードを使用する必要がある場合もあります。この利用方法の詳細は、マニュアル内の、設定ディスプレイに関するセクションを参照してください。

終了したら、電源ボタンを2秒間長押ししてホイールの電源を切ります。

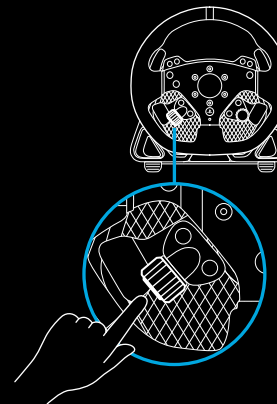
1



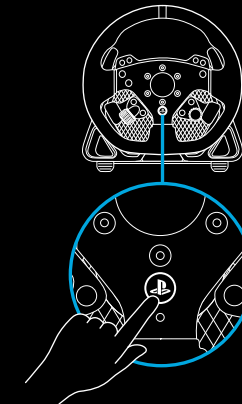
2



3



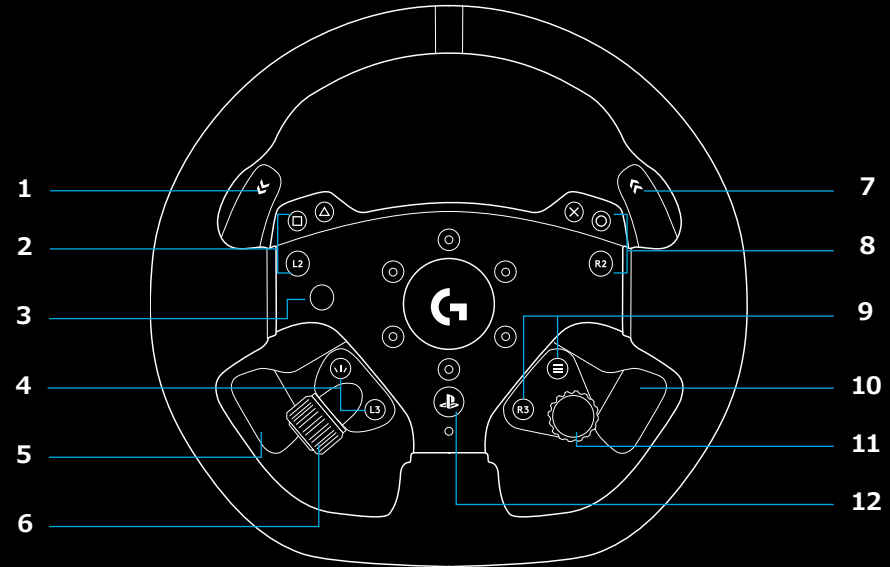
4



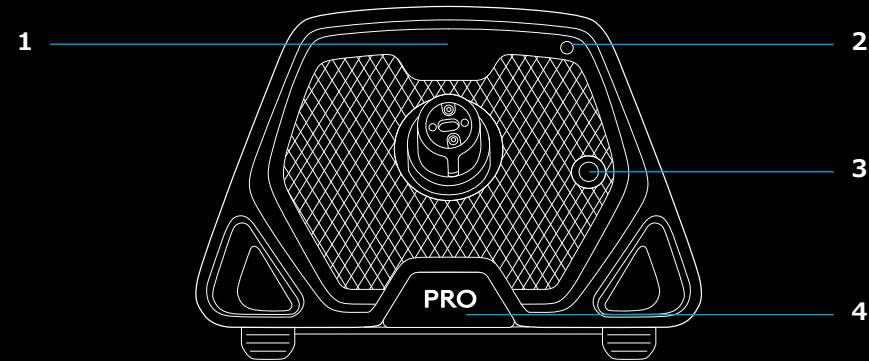
www.logitechG.com/ghub

機能

- 1 L1 (ギアダウン)
- 2 三角形、四角形およびL2ボタン
- 3 方向パッド
- 4 作成 (PS4™コンソールの場合は共有) およびL3ボタン
- 5 左デュアルクラッチパドル
- 6 左調整ダイヤルとプッシュボタン*
- 7 R1 (ギアアップ)
- 8 十字、円形およびR2ボタン
- 9 オプションおよびR3ボタン
- 10 右デュアルクラッチパドル
- 11 右調整ダイヤルとプッシュボタン*
- 12 PSボタン



- 1 OLED設定ディスプレイおよびRPM LED
- 2 設定ボタン
- 3 電源ボタン
- 4 クランプ収納カバー

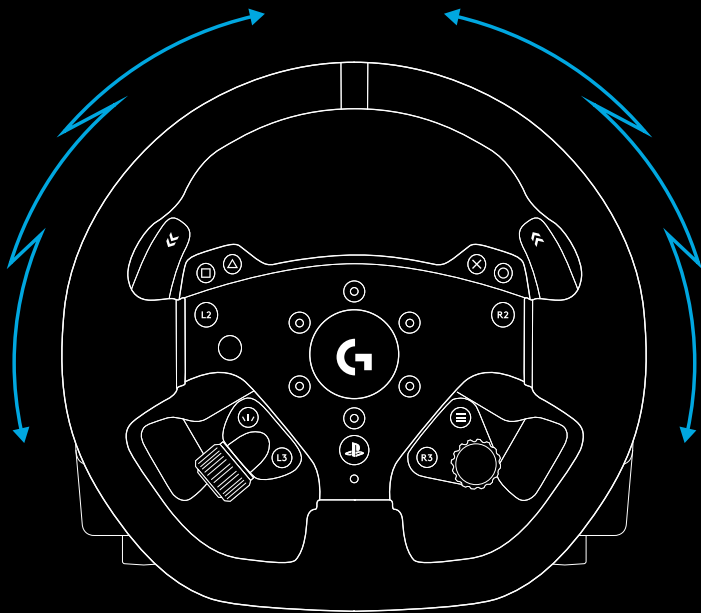


フォースフィードバック

ロジクールG PROレーシングホイールには、ダイレクトドライブモーターが装備されています。これは、フォースフィードバックを対応ゲームとシステムに提供します。また、対応ゲームでは次世代のフォースフィードバックであるTRUEFORCE

TRUEFORCEはゲーム内の路面コンディションやオーディオと直接連携し、高解像度かつリアルタイムなフォースフィードバックを実現します。タイヤのグリップ、サスペンション、重量、馬力、さらにはユニークなエンジン音の響きまでもを、ホイールを通じて即座かつ精確に感じ取ることができます。

対応ゲームの一覧については、
gaming.logitech.co.jp/support/PRO_Wheel_psをご覧ください



注:

ホイールのダイレクトドライブモーターは、非常に強いトルク(最大11 Nm)を生み出すことができます。ホイールを使用の際は細心の注意を払い、使用者の許容範囲内のフォースフィードバックレベルを設定してください。

本製品は、小さいお子様による使用を意図されていないのでご注意ください。

シミュレーションゲームでのレーシング中に車が衝突した場合は、ホイールは手から自動的に引かれます。ホイールの動作を停止しようとししないでください。怪我につながる場合があります。通常は、ゲームを一時停止することでホイールを停止できます。PC上では、これはキーボードを使って実行できます(多くの場合はEscキー、ゲームによって異なります)。コンソールでは、ホイールのUSBケーブルをコンソールから外す必要があります。

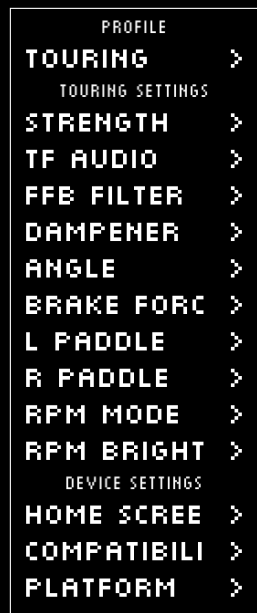
長時間使用する場合は、ホイールの背面にある排気口からわずかな臭いがある場合があります。これは正常であり、時間と共に消えます。

また、最大トルクでホイールを使ってレーシングセッションを非常に長時間続けた場合、ホイールの一部(特にステアリングホイール上のクイックリリースカラー、およびホイールベース上のクイックリリースアダプター)が熱く感じる場合があります。このような状況では、PROホイールを冷ましてから、ホイールリムを取り外す、および/またはホイールベースを取り付けられた場所から移動させることをお勧めします。

設定

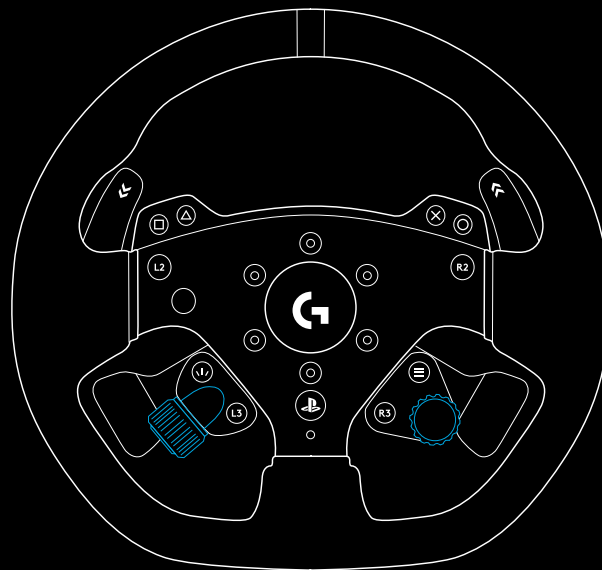
ホイールベース上の[設定]ボタンを押して、[設定]メニューにアクセスします。[設定]メニューで、5個のオンボードプロフィール内で、ホイール（および、取り付けられている場合はペダル）の様々な設定を構成することができます。あるいは、PCに接続されている場合は、現在アクティブなプロフィールをG HUB内で直接調整することができます。ゲームタイトルを変更する時（または同じゲームタイトルで車を変える時）に、プロフィール間を簡単に切り替えることができます。すべての設定は「ライブで調整可能」であり、調整が終了するとすぐに有効になります。

5個のオンボードプロフィールは、G HUBを使って名前を変更できます。コンソールでレーシングをする場合は、PROホイールをPCに接続し、オンボードプロフィールの名前を変えることができます。コンソールに接続し直した時に、これらの名前はまだ残っています。



メニューナビゲーション

ホイール上の調整ダイヤルのいずれかを使って、メニューを上下にスクロールするか、または設定を調整します。ダイヤルを押して選択するか、または選択を確定します。



プロフィール

ホイールのアプロフィールを変更します。5個のオンボード プロファイルから選択できます。PC上では、G HUBという追加オプションがあります。これを選択した場合、ホイールは、G HUB内で現在アクティブなプロフィールの設定を使用します。設定ディスプレイを使ってホイール上のいずれかの設定を調整した場合、その変更は、G HUB内の現在アクティブなプロフィールにも反映されます。

オンボード プロファイルの名前は、G HUBを使って編集できます。



強度

ホイールを通して感じられるフォースフィードバックの全体的な最高強度を設定できます (1~11Nmトルク)。



TFオーディオ

TRUEFORCEをサポートするゲームに対する、オーディオ効果出力の強度を設定します。オーディオ効果は、レーシング タイトルの様々な側面を再現します (エンジン音、グリップまたは道路の表面など)。



注:

全体的な体験が圧倒されないように、通常は、追加情報を受け取れる程度の低いレベルにTRUEFORCEオーディオを設定することをお勧めします。実際の車のホイールを通して得られる振動レベルを考え、それを目標にしてください。一部のタイトルは、コントロール オプション メニュー内でより詳細なコントロールが可能です。これによって、オーディオの各要素を調節できます。たとえば、エンジン、タイヤおよび道路の音を分離することができます。

フォースフィードバック フィルター

各ドライビングシミュレーションは、物理特性とフォースフィードバックを異なる速度で実行します (60Hzのみ、300Hz以上など)。反応性に優れたダイレクトドライブ ホイールでは、シミュレーションが実行できる限度を超える周波数を除去することが望ましくなります。これをデフォルトの自動設定のままにした場合、大多数のシミュレーションに対応し、よりスムーズな体験を提供します。必要に応じて、1 (最小フィルター) から15 (最大フィルター) までの設定でこれを手動で調整することができます。これにより、一部のタイトルが生み出すより細かい効果を感じることができます。ただし、フォースフィードバックのノイズが多少増加します。



ダンパー

この設定では、よりリアルな感触を実現するように、ホイールの感触を変えることができます。ダイレクトドライブ ホイールは、旧式のフォースフィードバック ホイールよりも反応性ははるかに優れ、TRUEFORCEをサポートしていない古いタイトルの実行時に異常な動作が生じることがあります。この最も一般的な動作は、トラックの直線部分を運転する時に発生します。一部のゲームでは、ホイールが中央の周囲で左右に急速に動き始めるのを感じる場合があります。これは、中央にとどまるようにという、ゲームからの信号へのホイールによる反応ですが、ホイールの反応性による過剰反応です。減衰レベルを設定することで、これを除去できますが、割合を増加させると、いずれの減衰レベルによっても、ホイールの反応性が下がることを覚えておいてください。このため、設定をできるだけ低く保ち、ホイールのパフォーマンスへの影響を避けることをお勧めします。



角度

ホイールの全体的な動作角度範囲を変更します。多くのゲームタイトルでは、これを1080度のままにする必要があります。そうすることで、運転している車に対して正しい回転範囲が処理されます。ゲームがこれを処理しない、あるいはゲームが実行していることを無効にしたい場合、これによって無効化が可能になります。



ブレーキ力

この設定は、互換性のあるペダルセットをPROホイールに取り付けた場合のみ利用可能です。これにより、100%のブレーキを達成するのに必要な力のレベルを設定できます。レベルを調節すると、ブレーキペダルを押して、軸出力を確認でき、お好みに合わせて簡単に調整できるようになります。



Lパドル / Rパドル モード

デュアルクラッチパドルを、複数の軸の1つに割り当てることができます：

クラッチ
アクセル
ブレーキ
ハンドブレーキ
軸A
軸B

軸A/Bは、追加の、固有でない一組の軸で、標準のレーシングシミュレーション シナリオ以外の他の機能に割り当てることができます（例：左 / 右を見る）。コンソール タイトルでこれらをサポートするかどうかは、開発者次第です。

アクセルとブレーキによって、様々な能力を持つゲーマーは、より優れたコントロールに必要な機能をアナログコントロールしながら、レーシングシミュレーションに参加することができます。

ハンドブレーキ コントロールは、ドリフト走行とラリーレーシングにとって重要な要件です。

クラッチは、ホイール上のデュアルクラッチの機能性を有効にする可能性を広げます。デュアルクラッチは、レースでのグリッドスタートから最大トラクションと起動速度を可能にする、起動アシスト機能として見直すことができます。

注：

デュアルクラッチ機能を動作させるには、両方のパドルをクラッチ機能に割り当てる必要があります。

コンソール タイトルでは、ハンドブレーキ、軸Aと軸Bの機能は反応しない場合があります、ゲーム開発者がサポートを追加する必要があります。



クラッチ バイト

この設定を使って、使用しているゲーム/車に対してデュアルクラッチパドル軸の値を調整し、完璧なスタンディングスタートを達成します。詳細は、マニュアルの次のセクションを参照してください。



RPMモード

RPM LEDには、ユーザーが選択可能ないくつかのプリセット パターンがあります。また、G HUBで独自のカスタムパターンを作り、それをホイールのオンボード メモリに保存することができます。



RPM輝度

RPM LEDの全体的な輝度レベルを調節します。



ホーム画面

ここにあるオプションを使って、ホイールまたはペダルの設定を調整しない場合に、[設定]ディスプレイに表示される内容を変更することができます。PROホイールの設定ディスプレイには、4つのディスプレイモードがあります

- 1 動的
- 2 テスト
- 3 プロファイル
- 4 トルク

動的

画面機能の今後の潜在的な更新をサポートします。テスト機能がデフォルト設定です。

テスト

デフォルトで、ホイールをオンにして、レーシング ゲーム タイトルが実行されていない場合、ディスプレイにはテスト画面が表示されます。この画面で、ホイール、デュアルクラッチパドルを動かしたり、互換性のあるペダルセット (取り付けられている場合) のペダルを押したりして、軸の反応を確認することができます。

プロフィール

現在ホイールが設定されたプロフィールが表示されます。

トルク

ホイールのライブと平均トルク出力を表示します。

互換モード

特にPCでは、一部のレーシング ゲームはPROホイールを自動的に認識しません。これが発生した場合、通常はゲームのコントロールを再構成して、動作するようにPROホイールを割り当てることができますが、一部のゲームでは、G923互換モードを有効化した方が簡単である場合があります。

互換モードでG923オプションを選択すると、ホイールは再起動し、PC/コンソールでは、それがG923ホイールであるかのように見えます。このため、G923をネイティブサポートするゲームは、動作するようにホイールを自動的にセットアップします（互換性のあるペダルセットをホイールに取り付けることも重要です）。

G923モードでは、上記の設定の多くが利用できません。強度、FFBフィルター、抑制装置およびブレーキ力を調整できますが、その他の唯一のオプションは互換モードで、これを使ってホイールを元のPROホイール モードに切り替えることができます。このモードでは、デュアルクラッチパドルは、アクセルとブレーキとしてのみ機能します。このため、ホイールの全機能を常に利用できるように、可能な場合は常にPROホイールモードにとどまることをお勧めします。

プラットフォーム

デフォルトで、電源を入れた時に、PROホイールは、使用したいプラットフォームを選択するよう促します。これが発生しないようにしたい場合は、ホイールが常に1つのモードで開始するように強制することができます（たとえば、PCでのみプレイする）。プラットフォーム設定には多数のオプションがあります：

- 起動時 (デフォルト)
- コンソール (お使いのPROホイールのバージョンによって、これらは変わります)
- PC

希望の選択肢を選ぶと、次回ホイールの電源を入れた時に、そのオプションが自動的に選ばれます。

デュアルクラッチの設定

- 1 使用したいゲーム タイトルで、お好みの車で、練習またはタイムトライアルセッションを開始します。
- 2 PROホイール上の[設定]ディスプレイにあるDクラッチバイト設定に移動します。
- 3 左デュアルクラッチパドルを完全に押し、ギアパドルを使って最初のギアを選び、フルアクセル / スロットルを踏み込みます。
- 4 デュアルクラッチパドルを完全に押したままで、ホイール上の右調整ダイヤルを使って、車が画面上で動き始めるまでディスプレイ上の値を調節します。
- 5 下の指示に従って、スタンディングスタートで実験し、ゲーム内で得られるトラクションに満足するまで値を調節します。

デュアルクラッチの使用

レース内のグリッドスタートからデュアルクラッチ システムを使用すると、クラッチペダルのバイトポイントを見つける必要なく、最大トラクションを達成できます - これによって、レースのスタート時に非常に有利になります。ゲーム内でデュアル クラッチ システムを使うには

- 1 レースの開始時、両方のデュアルクラッチパドルを完全に押し下げます。
- 2 ギアアップ パドルを使って最初のギアを選択し、アクセル ペダルを完全に押し下げます。
- 3 レース開始の緑のライトが付いたらすぐに、右デュアルクラッチパドルを直ちにリリースします。クラッチのバイト ポイントで車両が発進します。
- 4 左デュアルクラッチパドルをスムーズにリリースして、最大トラクションを達成します。

この最後の手順を練習したり、バイトポイント設定を何度か変更したりすることで、自身に最適な方法を見つけてください。この機能を使いこなすことができれば、スタート時の順位がかなり変わってくるはずです。

注:

デュアルクラッチ機能に対応していないゲームもあります。デュアルクラッチ機能に対応しているゲームの一覧については、gaming.logicool.co.jp/support/pro-wheel-psをご覧ください

G HUBおよびカスタムRPMパターン

ロジクールG HUBによって、PROホイール上で以下の機能を有効化できます:

- プロファイルによるボタンのプログラム、ゲームにリンク可能
- 回転角度やTRUEFORCE強度などのホイール設定の調整
- カスタムRPM LEDパターンの作成
- オンボード メモリ内のゲームプロファイルとカスタムRPM LEDパターンを編集
- ホイールの様々な軸をテスト

G HUBホイール設定

感度

ホイールの出力反応を変更し、感度を増減させます。このスライダーを50%のままにすると、リニア1:1出力になります。51%~100%にすると、ホイール中央付近の感度が上がります。0%~49%にすると、ホイール中央付近の感度が下がります。

その他のすべての設定は、ホイールベース上の[設定]ディスプレイ内の表示と一致し、マニュアルに前述されています。

G HUB LIGHTSYNC/RPM LED設定

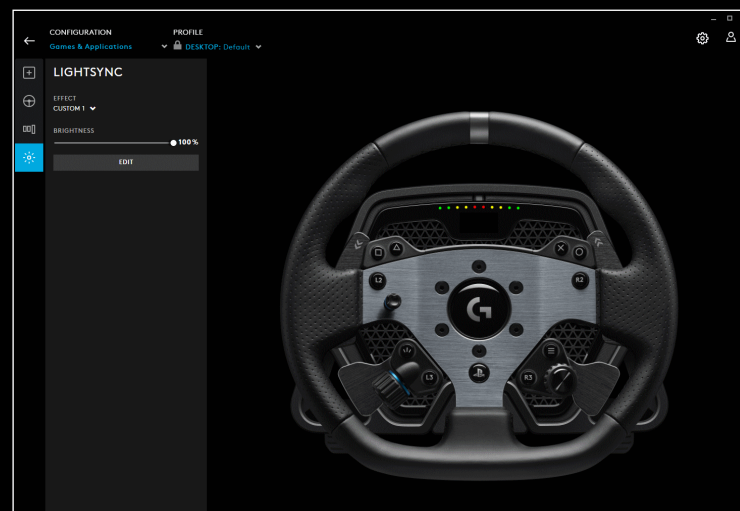
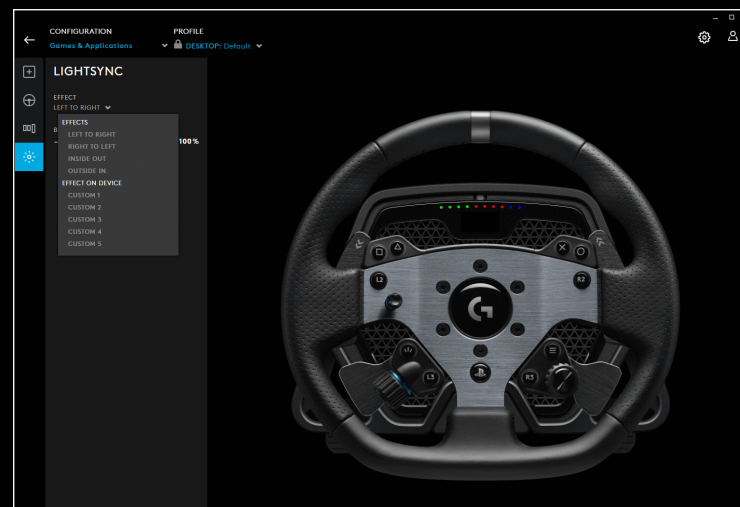
PROレーシングホイールには、多数のデフォルトRPMライトパターンがメモリ内に既に設定され、G HUB内で選ぶことができます。ゲーム開発者は、必要に応じて、RPM LEDを直接処理し、シミュレーションしている車の正確な動作を再現することができます。ホイール上のメモリ内にあるカスタムライトパターンも編集できます。これによって、コンソール ユーザーはこの機能を利用することも可能になります - Windows PC上ですべてをセットアップし、ホイールのメモリに保存してから、それをコンソールに接続します。

独自のカスタム効果を含めたあらゆる効果は、選択した時に効果の右側に表示されるコピーアイコンを使ってコピーできます。

RPM LEDの全体的な輝度は、効果のドロップダウン メニューの下にあるスライダーを使って変更できます。

カスタムRPMパターンの設定

ドロップダウンメニューをクリックして、デバイス上の効果の1つを選択してから、[編集]ボタンをクリックします:

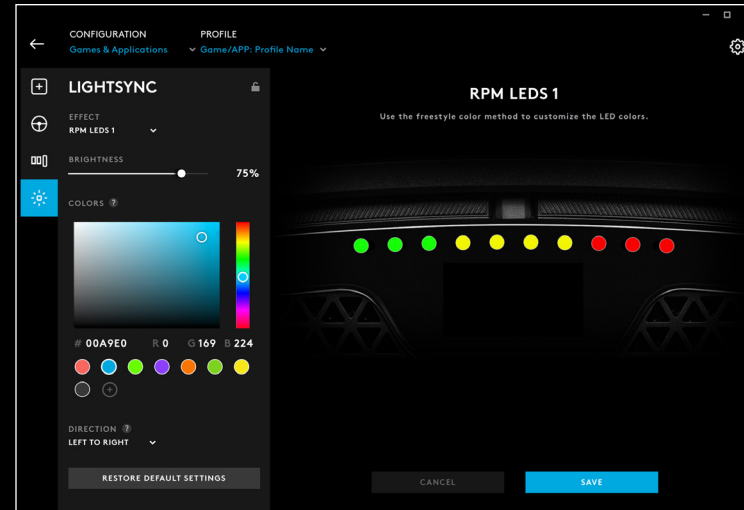


左側に、色ピッカーが表示されます。メインの色セクションで、色の陰影が左から右に変わり、色の輝度が長方形の上部から下部に変わります。

長方形の下の、中に+記号がある円をクリックして色を保存することができます。LEDの1つに色を割り当てるには、色を選択してから、右側の画像内のLEDをクリックします（マウスアイコンがペンキのバケツに変わり、LED上でその色を「ペイント」できることを示します）。

その下には、PROレーシングホイールに付属のプリセットパターンが含まれるドロップダウンメニューがあります - お好きなパターンを選択します。

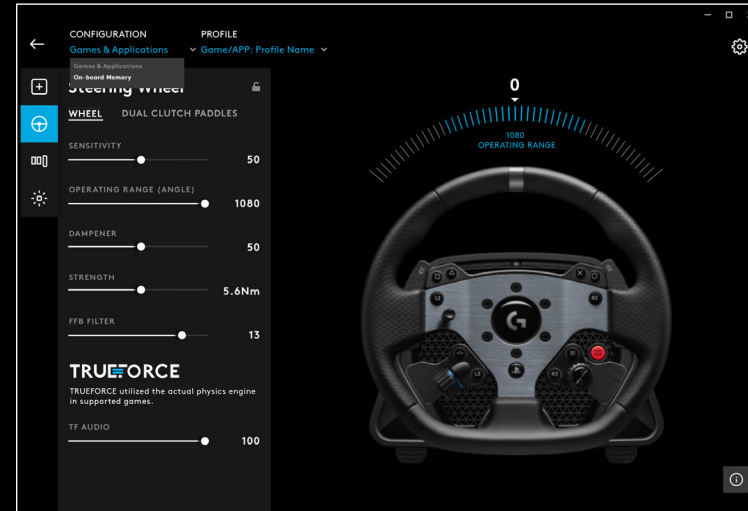
終了するには、上部のRPM LEDテキストを選択して、自分の名前を入力してから、下部の[保存]をクリックして、パターンの名前を変更します。



G HUB & オンボード プロファイルの管理

G HUBの上部で、2つのドロップダウンメニューを利用可能です：構成およびプロフィール。

[構成]では、G HUB内でゲームのソフトウェアプロフィールを調整する(他のロジクールG製品に対して可能であるように) かどうかを選択したり、オンボードメモリ内の設定を編集したりすることができます。



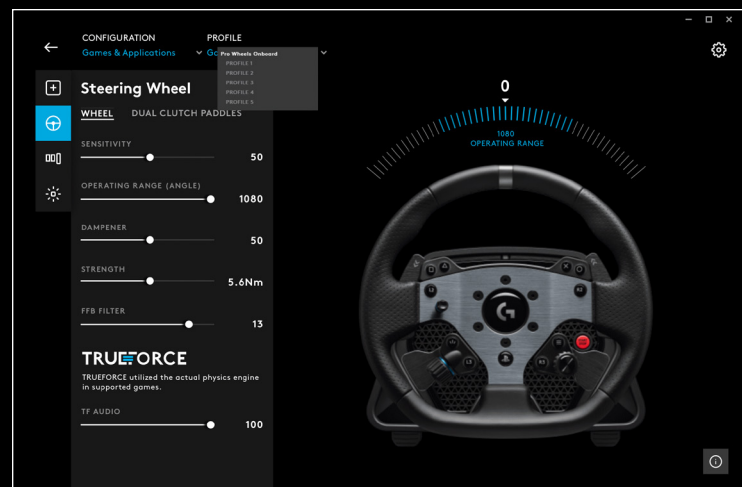
[ゲーム & アプリケーション]が[構成]メニューで選択された状態で、プロファイルのドロップダウンメニューには、G HUBにあるすべてのプロファイルが含まれます。G HUB更新の一部として含まれるプロファイル、または自分で作成してプログラムの「.exe」ファイルにリンクしたカスタムプロファイルです。

[構成]でオンボードメモリが選択された状態で、[プロファイル]ドロップダウンメニューには5個のオンボードメモリスロットのみが含まれます：

ここでG HUBで設定に対して行った変更は、PROホイールの、選択したプロファイルのメモリ内に自動的に保存されます。プロファイルの名前を選んで編集することもできます。プロファイルを選択したら、画面上部にあるプロファイルの隣の編集アイコンをクリックします。それから、プロファイルの新しい名前を入力できます。これはPROホイールに保存されます。これはメモリ内で持続するため、その後PROホイールをコンソールで使用すると、そのプロファイル名がやはり存在します。

注：

ホイール上の設定メニューが開いていると、G HUBを使ってPROホイール上の設定を変更することはできません。設定メニューがアクセスされたことが検出されると、G HUBに、ホイール上の設定メニューを閉じるように求めるエラーメッセージが表示されます。



推奨されるメンテナンス

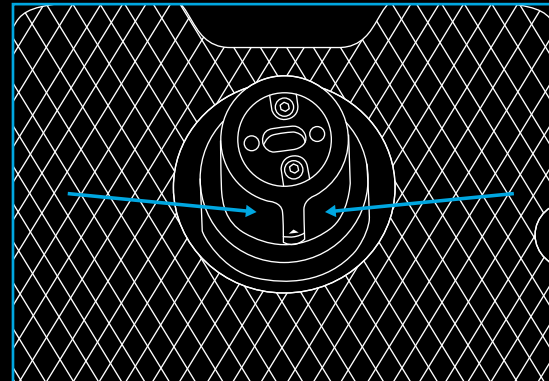
PROレーシングホイールは、数百時間動作を継続し、使い始めた時と同じ快適性を維持できるように設計されています。ただし実際の車と同様に、簡単な、ほぼ定期的なメンテナンスを行うことで、ホイールを常にきれいな状態を保つことが推奨されます。

定期的なメンテナンス (週1回)

- ホイールベースの前面グリルを掃除機で掃除し、埃がたまるのを防ぎます。
- 本体とホイールリムを、湿らせた糸くずの出ない布でクリーニングします。布は湿らせすぎないように注意してください。

200時間ごと

イソプロピルアルコールワイプを使って、ホイールベース上のクイックリリースアダプターの外表面を拭きます。



ファームウェア更新

ファームウェア (埋め込みソフトウェアとも呼ばれる) は、PROホイールのすべての機能を制御するコードです。ロジクールは、機能性を強化するために、定期的にファームウェア更新をリリースする場合があります。これらはG HUBを通して利用可能であり、更新が利用可能になると、ユーザーは通知を受けます。

ご質問がある場合:

gaming.logicool.co.jp/support/pro-wheel-ps



© 2022 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。Logicool、Logicool G、Logi、TRUEFORCEおよびLogicoolのその他のマークはLogitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。

「PS」、「PlayStation」、「PS5」、「PS4」、および「PlayStation Shapesロゴ」は、Sony Interactive Entertainment Inc.の登録商標または商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。Sony Interactive Entertainmentの認可を受けて製造および販売されています。

WEB-621-001970 002